

1 平成29年度行政監査の結果に基づき講じた措置の状況

(単位：件)

テーマ名	監査結果 A	措置済 B	今回措置を 講じたもの※ C	未措置 A-B-C
地域防災計画等において県が備蓄・整備することとしている物資及び資材について	19	10	9	0

※「今回措置を講じたもの」については、平成31年3月28日及び平成31年4月4日に知事から通知があったもの

2 行政監査の結果に基づき講じた措置

機関名	監査結果	講じた措置
危機管理政策課	備蓄施設が洪水ハザードマップの浸水想定区域内に立地しており、1階に備蓄されている物資及び資材は浸水すると使用できないおそれがあるため、浸水対策や保管場所の移転について検討されたい。	防災交流センター宿舎棟1階サロン室に保管されている災害対応職員用の寝袋等が浸水時に使用できなくなることを防ぐよう、防災交流センター2階へ移転を行った。
防災課	備蓄計画において飛驒総合庁舎の分散備蓄に掲げられている資機材のうち、計画上の数量に満たない資機材（スコップ等）があるので、計画との整合性を図られたい。	備蓄計画と比べて不足している資機材の数量を確認し、角形シャベルといった資機材の一部を調達した。 なお、平成31年度予算にてブルーシートを調達することで、備蓄計画との整合を図る。
	備蓄施設が洪水ハザードマップの浸水想定区域内に立地しており、1階に備蓄されている物資及び資材は浸水すると使用できないおそれがあるため、浸水対策や保管場所の移転について検討されたい。	防災交流センター宿舎棟1階サロン室に保管されている災害対応職員用の寝袋等が浸水時に使用できなくなることを防ぐよう、防災交流センター2階へ移転を行った。
	故障した投光器や発動発電機、電圧低下が懸念されるバッテリーボックス（消火剤散布装置用）、未点検の一体型気密化学防護服が一部見受けられたので、災害時に迅速かつ確実に使用できるよう、物資及び資材の品質・機能の確保に努められたい。 また、物資及び資材の棚卸点検（毎月実施）の記録数量と資機材レイアウト図の記載数量が整合しておらず、棚卸点検が形骸化しているおそれもあるため、受払管理の厳格化などにより、定期的な棚卸しの実効性向上に努められたい。	災害時に迅速かつ確実に使用できるよう、故障した投光器の修理を行い、発電機やバッテリーボックス等の一部の資機材を調達した。 なお、平成31年度予算で一体型気密化学防護服の点検を実施する。 受払管理は、帳簿を作成しきめ細かな受払管理を行うと同時に、年に1回以上の現物確認を実施し、正確な備品の管理を行うこととした。

	<p>倉庫の天井に照明設備があるものの、約5メートルの高さがある四段式保管棚に保管されているため、天井の照明が最下段まで届かず、日中であっても物品の識別が困難なものがあったことから、夜間時の迅速な物資搬出等に対応するためにも、照明設備の充実を図りたい。</p>	<p>搬出作業時等の視認性向上のため、ヘッドライトを購入し、作業時に着用することとした。</p>
	<p>防災交流センターには、県庁で災害対策に従事する職員の非常食や飲料水が2階に保管されている。岐阜市の洪水ハザードマップによれば、洪水時には最大1～2mの浸水が想定されており、2階に保管されている物資や資材が水没するおそれはないものの、施設周辺が浸水した場合は搬出困難となるおそれがあるため、より適切な保管場所の確保について検討されたい。</p>	<p>非常食や飲料水等を県庁12階に保管場所を移すことで、災害発生時に搬出ができ、迅速に災害従事職員に配布できるよう対処した。</p>
飛騨県事務所	<p>備蓄計画において飛騨総合庁舎の分散備蓄に掲げられている資機材のうち、計画上の数量に満たない資機材（スコップ等）があるので、計画との整合性を図りたい。</p>	<p>備蓄計画と比べて不足している資機材の数量を確認し、角形シャベルといった資機材の一部を調達した。</p> <p>なお、平成31年度予算にてブルーシートを調達することで、備蓄計画との整合を図る。</p>
	<p>燃料又は乾電池（以下「燃料等」という。）で稼働する機材（発動発電機、灯油ストーブ、ランタン、拡声器）について、燃料等が当該機材と一体的に備蓄されていないものがあるため、災害時に迅速に機材を稼働できるよう、応急用の燃料等の機材との一体的な備蓄又は発災時の確実な調達方法について検討されたい。</p>	<p>発動発電機で稼働させる機材は全て庁舎内の防災備蓄倉庫に移動し、燃料等と当該発動発電機と一体的な備蓄とした。</p> <p>今後、燃料等で稼働する機材を配備する場合にも一体的な備蓄を行っていく。</p>
	<p>倉庫内の狭い空間に大量の物資及び資材が詰め込まれ、倉庫の奥に保管されているものは点検すら困難な状態となっており、保管スペースが不足している。災害時に迅速な対応を行うためにも、備蓄規模に適した保管スペースの確保について検討されたい。</p>	<p>屋外防災倉庫について、保管していた資機材の一部（発動発電機、投光器、ブルーシート等）を公用車庫及び庁舎内の防災備蓄倉庫に配置換えしたことにより、取出しや点検を容易に行えるようにした。</p> <p>なお、発災時に迅速に資機材を運び出せるよう、資機材の配置図を作成し掲示した。</p>